

## 県営都市公園 湖岸緑地の利用についてのアンケート

県では、新型コロナ危機を契機に、公園が有する緑とオープンスペースの重要性が再認識されています。

今後、県として魅力ある公園づくりに取り組むため、県営都市公園の湖岸緑地の今後のあり方を検討する上で参考資料とします。御協力をお願いいたします。

★調査時期:令和4年5月

★対象者:県政モニター300人

★回答数:265人(回答率88.3%)

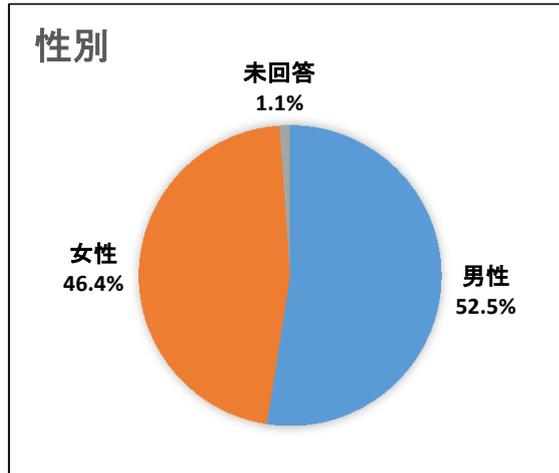
★担当課:土木交通部 都市計画課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【属性】

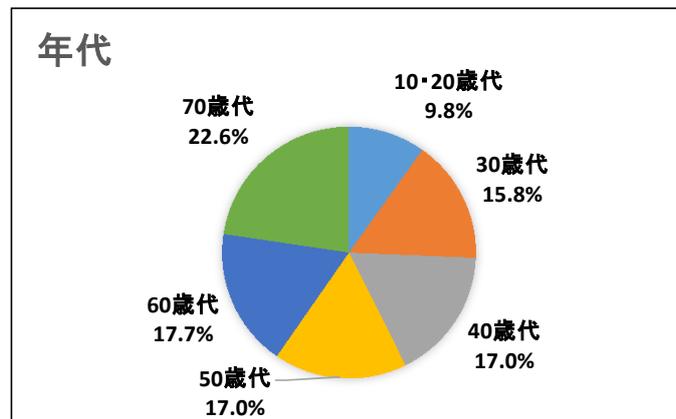
■性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	139	52.5%
女性	123	46.4%
未回答	3	1.1%
合計	265	100.0%



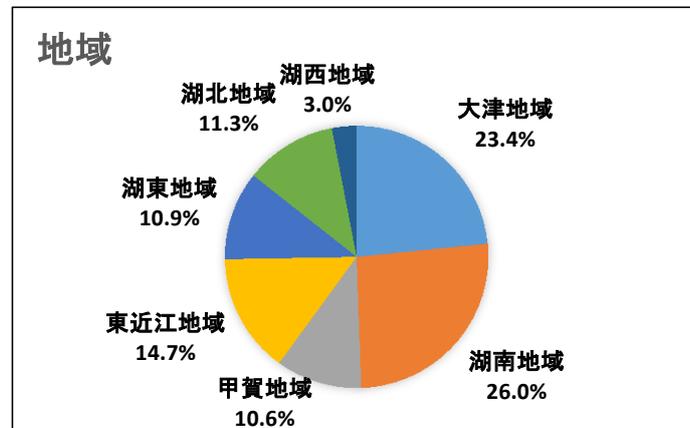
■年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	26	9.8%
30歳代	42	15.8%
40歳代	45	17.0%
50歳代	45	17.0%
60歳代	47	17.7%
70歳代	60	22.6%
合計	265	100.0%



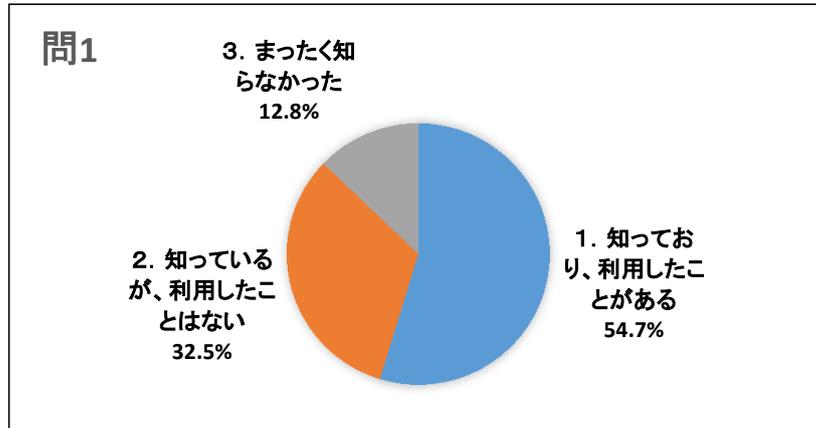
■地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	62	23.4%
湖南地域	69	26.0%
甲賀地域	28	10.6%
東近江地域	39	14.7%
湖東地域	29	10.9%
湖北地域	30	11.3%
湖西地域	8	3.0%
合計	265	100.0%



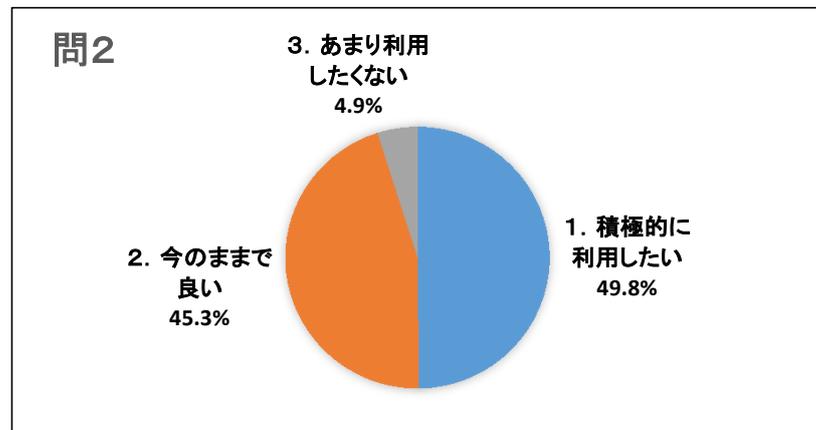
問1 琵琶湖周辺の自然環境の保全と湖辺の風景の創出、レクリエーション利用の増進を図るため、琵琶湖岸を公園化した湖岸緑地を御存じでしょうか。(回答チェックは1つだけ n=265)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っており、利用したことがある	145	54.7%
2. 知っているが、利用したことはない	86	32.5%
3. まったく知らなかった	34	12.8%
合計	265	100.0%



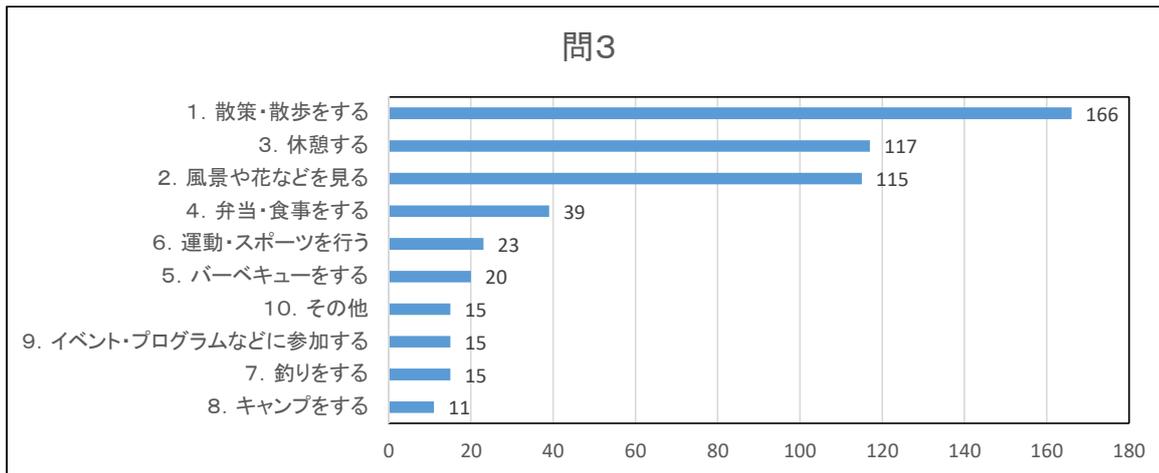
問2 湖岸緑地についての印象は以下の中からどうか。(回答チェックは1つだけ n=265)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 積極的に利用したい	132	49.8%
2. 今のままで良い	120	45.3%
3. あまり利用したくない	13	4.9%
合計	265	100.0%



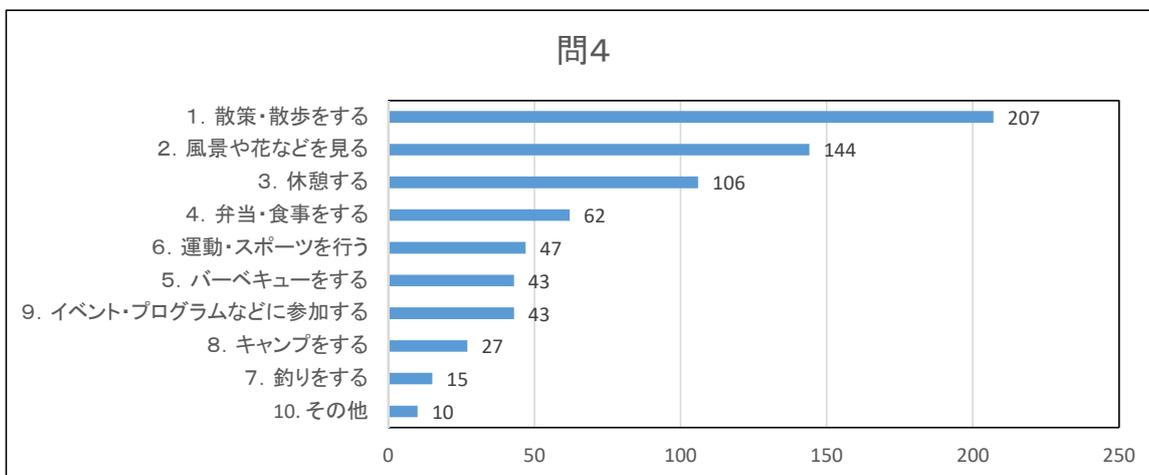
問3 湖岸緑地を知っている方にお聞きます。湖岸緑地では、どのような利用をされていますか。(回答チェックは3つまで n=536)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 散策・散歩をする	166	31.0%
2. 風景や花などを見る	115	21.5%
3. 休憩する	117	21.8%
4. 弁当・食事をする	39	7.3%
5. バーベキューをする	20	3.7%
6. 運動・スポーツを行う	23	4.3%
7. 釣りをする	15	2.8%
8. キャンプをする	11	2.1%
9. イベント・プログラムなどに参加する	15	2.8%
10. その他	15	2.8%
合計	536	100.0%



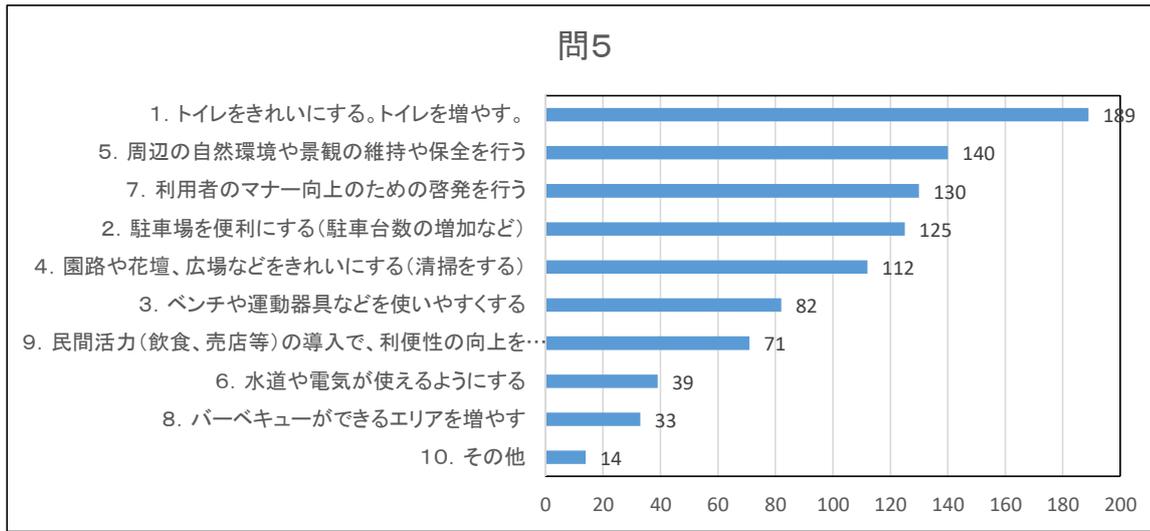
問4 今後、湖岸緑地をどのように利用したいと思いますか。(回答チェックは3つまで n=704)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 散策・散歩をする	207	29.4%
2. 風景や花などを見る	144	20.5%
3. 休憩する	106	15.1%
4. 弁当・食事をする	62	8.8%
5. バーベキューをする	43	6.1%
6. 運動・スポーツを行う	47	6.7%
7. 釣りをする	15	2.1%
8. キャンプをする	27	3.8%
9. イベント・プログラムなどに参加する	43	6.1%
10. その他	10	1.4%
合計	704	100.0%



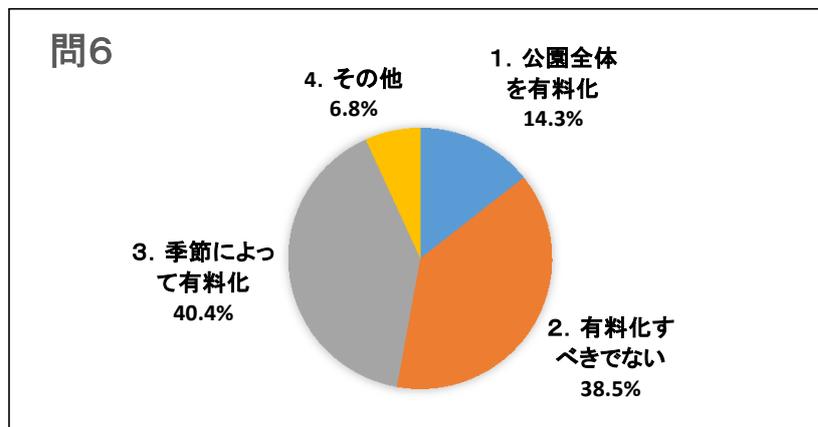
問5 湖岸緑地については、今後、どのような取組を進めるべきと思われますか。(回答チェックはいくつでも n=935)

項目	人数(人)	割合(%)
1. トイレをきれいにする。トイレを増やす。	189	20.2%
2. 駐車場を便利にする(駐車台数の増加など)	125	13.4%
3. ベンチや運動器具などを使いやすいにする	82	8.8%
4. 園路や花壇、広場などをきれいにする(清掃をする)	112	12.0%
5. 周辺の自然環境や景観の維持や保全を行う	140	15.0%
6. 水道や電気が使えるようにする	39	4.2%
7. 利用者のマナー向上のための啓発を行う	130	13.9%
8. バーベキューができるエリアを増やす	33	3.5%
9. 民間活力(飲食、売店等)の導入で、利便性の向上を図る	71	7.6%
10. その他	14	1.5%
合計	935	100.0%



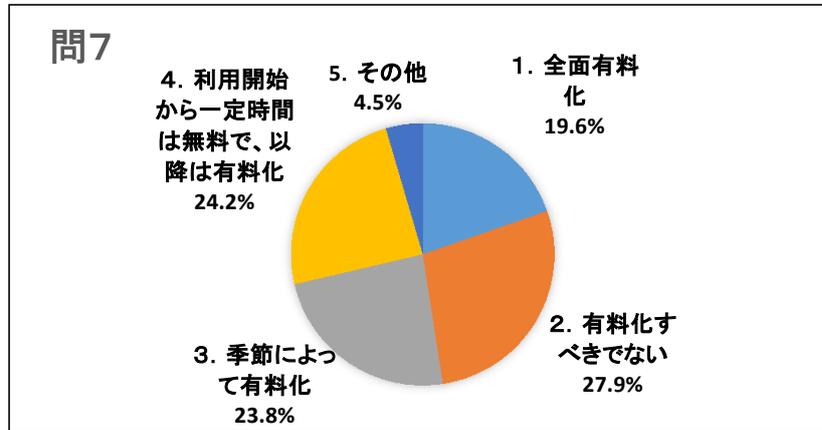
問6 湖岸緑地における施設の有料化について、どのようにと思われますか。(回答チェックは1つだけ n=265)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 公園全体を有料化	38	14.3%
2. 有料化すべきでない	102	38.5%
3. 季節によって有料化	107	40.4%
4. その他	18	6.8%
合計	265	100.0%



問7 湖岸緑地における駐車場の有料化について、どのように思われますか。(回答チェックは1つだけ n=265)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 全面有料化	52	19.6%
2. 有料化すべきでない	74	27.9%
3. 季節によって有料化	63	23.8%
4. 利用開始から一定時間は無料で、以降は有料化	64	24.2%
5. その他	12	4.5%
合計	265	100.0%



問8 その他、御意見がありましたらお聞かせください。

景観が美しく、滋賀県ならではの景色が楽しめる。県外の友人を招いた際に訪れたい場所。滋賀県の魅力の一つだが、利便性を高めすぎる(駐車場増設、売店導入など)と、良さを失う。バランスが重要。自然を感じて過ごせる場所であって欲しいので、商業施設の介入はせず、環境を綺麗に維持して行く方向で。設備が整えば需要が増える反面、管理に利用料や駐車料などが必要になる。今の素朴な湖岸を、日々のライフワークの中で楽しみたい。設備は簡素でもよく、利用者の創造で楽しめればよい。自然を楽しむ人は不便であることを楽しんでいる。都会的な便利さは、求めている。イベントなどでもっとアピールしないとだめ。フリーマーケットや陶器市のようなイベントがあると尚楽しめる。トイレと駐車場を整備し、遊具もあればもっと行こうと思う。松が枯れている。美しい風景を守るために松の木を守ってほしい。地域別に花木の種類を変えて植樹して、見どころが代わるように仕組みでみたら、来訪客が増えるのでは。魅力を上げて、周辺自治体からの訪問を増やす。(渋滞や駐車場対策も必要) 駐車場等に予約制(県民早期申込可)希望。駐車場に入れない車の路上駐車が迷惑。駐車場の確保から考えるべき。

車椅子で湖岸の波打ち際近くまで行ける公園があれば家族で利用できるのもうれしい。スケボーなど街中ではできないので、みんなが使える施設があればとても魅力的。路線バスで行けるようにする必要がある。公共交通機関との提携。公園内の植樹は、防犯面で見通し良くする。夜間暗いので、防犯面に重点を置いた設計にしてほしい。入場者が管理の一端を担えるような工夫ができれば素晴らしい。地元自治会やまちづくり団体に、適正な対価を支払って、清掃管理を委託する。活動原資として活用できる。投げ釣りは、禁止・または、場所を限定してほしい。ゴミの持ち帰り推進、ポイ捨て禁止をして。食べ物や花火、釣り糸や釣りの針、餌袋のゴミが落ちている。子供達が安心して行ける場所にしてほしい。BBQの不始末で火災が発生している。やり放題の状況。キャンプは禁止すべき。マナーを守って利用してほしい。注意したら逆に怖い思いをした。警察当局もパトロールしてほしい。BBQのゴミやマナーの悪さが不快になる。利用を控える事がふえた。マナーが守れない利用者が多い。BBQは予約制にし、ゴミが残っているなど後処理が悪かったら今後利用禁止にするなどの厳しい処置が必要。景観保全や公共マナーを遵守させ、みんなが気持ちよく利用できるみんなに開かれた場であってほしい。有料化で景観の維持、保全、清掃等の費用に当てることができるが、金額によっては利用者が減る。利用協力金として支払ってもらう。たくさんの方に利用していただくことが大切。有料にして「持続可能な施設」とすべし。環境保全には維持費が要るので、最低限度を徴収すべき。適正な価格で、きれいな公園が維持出来れば有効。掃除のコスト負担が利用者にあってもいい。季節に関係なくキャンプが行われていて、これからも気楽に楽しめる琵琶湖湖岸であつたら良いので、無料で。有料化は、利用者マナーの状況によって検討すべき。徴収に経費がかかるが、公園を維持する意識づけにも繋がるので、有料化して。公共施設の整備にもお金が掛かるため有料化し快適な物にした方がよい。居住地そばの公園駐車場が近隣住民の駐車場代わりとなっている。駐車場は利用者負担としたほうがよい。どんどん有料化して、県の収益を上げる方向にもっていくべき。(収入を美化活動などの財源に) 有料化より、キッチンカーやBBQ用品のレンタル、季節限定店舗、イベント開催などでお金を回す方がよい。